



**東京五輪後の  
日本におけるサステナブル・シーフードの動向を考える**

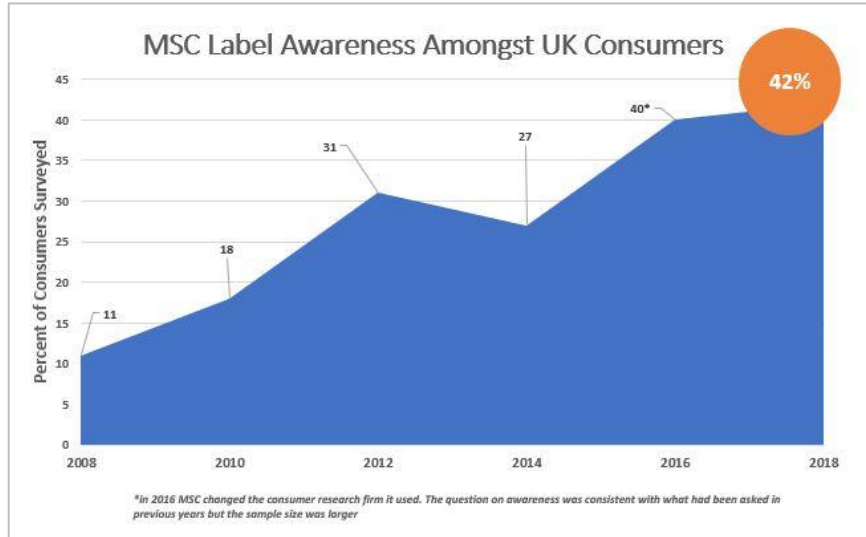
**Nicolas Guichoux – Chief Program Officer - MSC**



# ロンドン五輪 2012

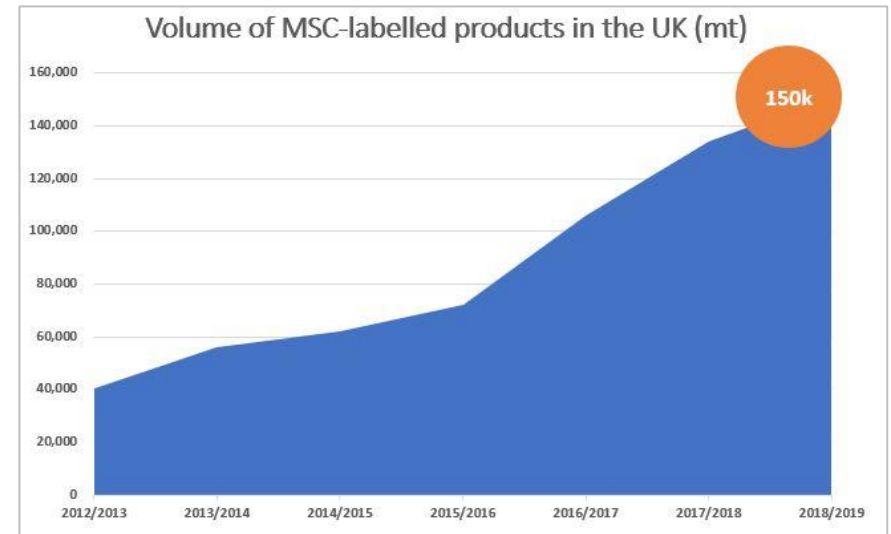


# 2012年以降のMSC認証の広がり(イギリス)

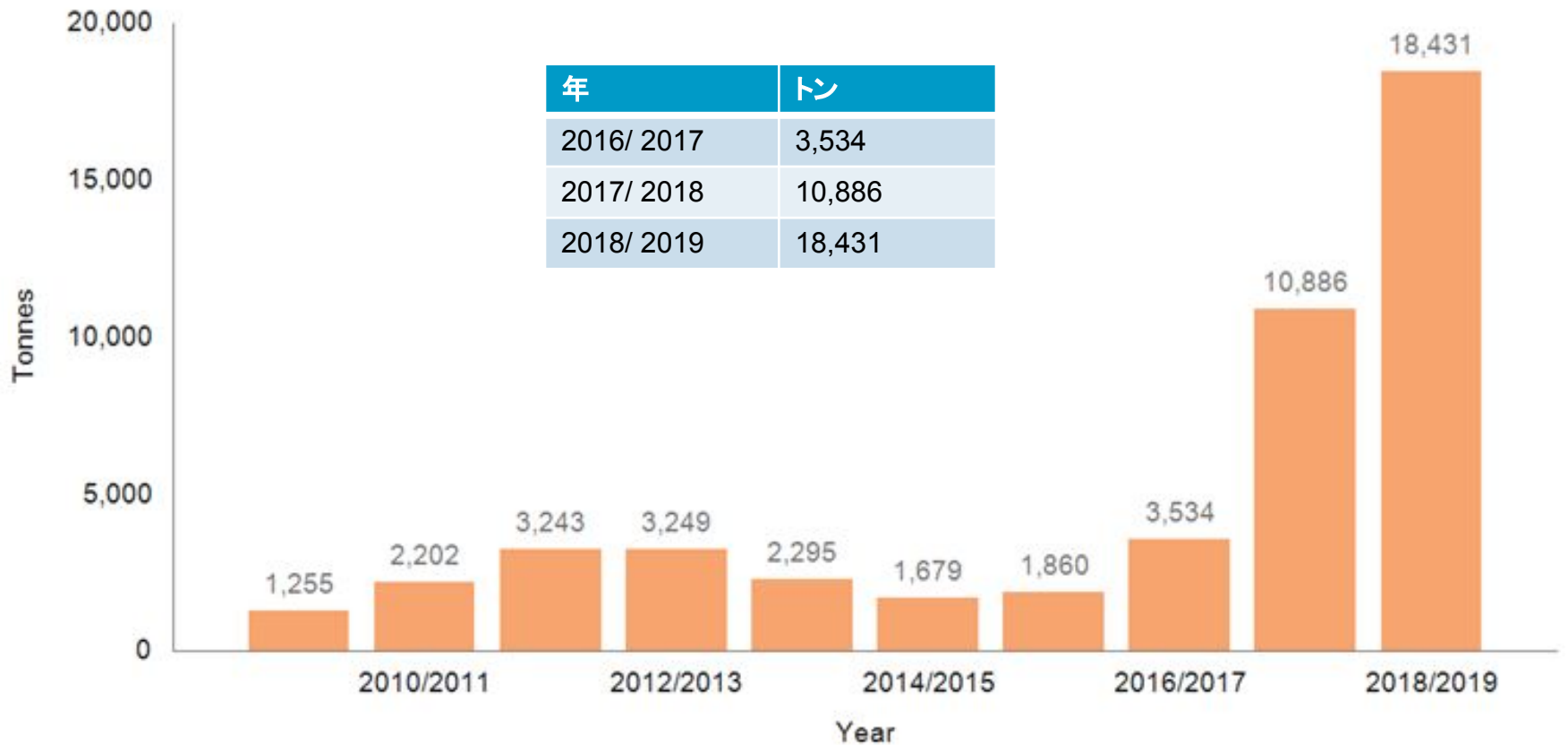


1. MSC認証の主要魚種の調達がより容易になった。
2. サステナブル・シーフードに関する活動がより活発になった。

3. イギリスの消費者の間でエシカルやサステナブルな食品の購入への関心が高まった。
4. 水産会社の間でサステナビリティをビジネスの中心に位置づける動きがさらに強まった。



## MSCラベル付き製品の重量



## 海洋の持続可能性と水産物に対する消費者の考え方

■ 2016

■ 2018

海洋環境を保全していくために、持続可能な供給源からの水産物のみを消費すべきだ



より持続可能なものを選ぶために、選択する魚種を変えることも必要だ



*Describes opinion well, top three (5+6+7 on 7-pt scale)*

Base: Seafood consumers, Japan

Q5.1: How well does each of the following statements describe your opinions? 7-pt scale: 1 = "Does not describe my opinion very well", 7 = "Describes my opinion very well"

\*No tracking data available; \*\*wording has slightly changed from last wave



国際社会として目指すべき、環境と社会に関する明確な目標を定める。

持続可能な水産物の生産と健全な海洋環境に向けた世界における変革をビジネスの力でリードする。

強い影響力を持ち、斬新で拡大可能なイニシアチブを促進、提示する。



# 次のステップ



TOKYO 2020

